

教育委員会だより

令和7年9月26日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめざす子ども像
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

多治見を故郷に育つ ～多治見市多言語進路説明会～

多治見市教委では毎年、多言語による進路説明会を開催しています。今年度は、8月22日（金）、多治見市役所駅北庁舎大ホールにて、日本語、ポルトガル語、タガログ語、英語、中国語、ベトナム語の6言語での開催となり、39名の児童生徒・保護者が参加しました。日本の高校入試のシステム、必要な費用、近隣の高校の情報、そして外国人生徒向けの入試制度など、内容は多岐に亘りましたが、参加者たちは通訳者を介し、真剣な面持ちで、市教委の説明に耳を傾け、多くの質問も出ました。会の終わりには、多治見市内の中学校を卒業した外国ルーツの7名の高校生たちが「日本に来たばかりの頃の苦労話」や「高校生活」、そして「中学生の皆へのメッセージ」をそれぞれの母語と日本語で語るコーナーがあり、その姿に参加者たちからは大きな拍手が起きました。多様な言語、多様な文化背景の児童生徒たちが、多治見市を故郷とし、仲間と共に心豊かに育っていく姿を応援しています。



安全・安心・おいしい給食 ～学校給食運営委員会～

8月27日（水）に、多治見市学校給食運営委員会が開催されました。本委員会では、学校給食の安全・安心な提供体制の維持向上を目的として、正副議長、市議会議員、学識経験者、保護者、学校管理職など、様々な分野の委員の皆様にご参加いただきました。夏休み明け初日に子どもたちに提供された給食を実際に食べながら、様々な意見交換が行われました。物価高騰に伴う学校給食費の負担軽減や食育の推進、地場産物の活用、食物アレルギーへの対応など、多岐にわたるテーマについて活発な議論が交わされました。委員からは、多治見の給食がとても工夫されていて、子どもたちが安全に楽しく食べていること、そして、学校給食が子どもたちの健全な成長に不可欠な役割を担っていること、また、食育を通して自らの健康意識を高め、地域社会との連携をさらに深めることの重要性についてなどのご意見をいただきました。教育委員会では、今回の委員会で出された貴重なご意見を参考に、よりよい給食運営に努めてまいります。

夏の探究、力作ぞろい！ ～多治見市科学作品展～

8月30日（土）と31日（日）の2日間、バロー文化ホールを会場に第69回の多治見市科学作品展を開催しました。来場者は合計831名と盛会で、親子連れからお年寄りまで幅広い年代の方に作品を観ていただくことができました。夏休みの自由研究として、小・中学生が意欲的に取り組んだ力作が数多く並び、来場者は子どもたちの豊かな発想と探究心に感心している様子でした。

今年の出品数は436点（小学校424点、中学校12点）と昨年並みでした。出品数は年々減少傾向にありますが、今年はどの作品もテーマ設定や考察が深く、それぞれの「なぜ？」を大切にし、楽しみながら研究に取り組んだことが伝わってくるものばかりでした。身近な植物の成長を丹念に記録した観察記録や、ユニークな視点から自然現象の謎に迫った実験、日常生活の「あたり前」にスポットを当てて掘り下げた研究など、子どもたちの興味の対象は多岐にわたりました。

夏休み作品展は、子どもたちが夏休みという長い時間をかけて、自分だけのテーマと真剣に向き合った努力の結晶です。ひとつひとつの作品から、子どもたちが夢中になって研究に取り組む姿が目に見え、科学の面白さや探究する楽しさを改めて感じさせてくれる、素晴らしい機会となりました。



愛情あるご指導に感謝～教育委員さんのご退任～

任期満了により9月末日をもって大嶽和好教育委員が退任されます。2期8年にわたり、これまでの教育現場経験を活かしながら本市の学校教育に多大なお力添えをいただきました。また、教育先進校の発表や教員採用試験の会場にも足を運んでくださり、多治見市の教育現場の現状や課題に沿ったご示唆をいただきました。そして、園・学校への訪問時には、子どもたちに温かな眼差しを向けてくださり、教職員へのねぎらいと的確なアドバイスをいただきました。教育委員会会議では、園・学校や教育委員会事務局の取組に深いご理解をいただきました。また、様々な相談にも快く応じてくださり、的確にご助言いただきました。多治見の教育のためのご活躍、本当にありがとうございました。

